

第86期 事業報告書

平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで



株式会社 ロイヤルホテル



新大阪ホテル(昭和10年 開業当時の写真)



現在のリーガロイヤルホテル(大阪)

株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに当社第86期(平成23年4月1日から平成24年3月31日)の営業報告を申し上げます。

「大阪の“ホーム”ホテルへ。」

当期のわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響により大きく後退し、夏場以降回復の兆しは見られるものの、海外景気の減速や急速に進行した円高による外需減少等により、依然として不透明な状況で推移しました。

ホテル業界におきましても、こうした経済環境の中、震災直後の企業催事の自粛による宴会需要の減少に加え、原子力発電所事故・円高などによる外国人旅行者の減少などの影響を大きく受け、当社を取り巻く状況は極めて厳しいものとなりました。

このような中で、当社は、昨年3月に公表いたしました中期経営改善計画に則り、事業基盤の構築を進めるべく、様々な取り組みを行ってまいりました。

- (1) リーガロイヤルホテル(大阪)では、昨年8月に、「All Day Dining REMONE(リモネ)」をオープンいたしました。多彩な料理をお楽しみいただけるレストランとして、幅広い年齢層のお客様にご利用をいただいております。同じく8月に、人気の結婚披露宴会場2室をリニューアルし、隣接する「ザ・クリスタルチャペル」を含むプライダル専用ゾーン「ザ・クリスタルウイング」として生まれ変わりました。ラグジュアリーな空間をご提供することにより、受注獲得を強化してまいります。また、本年3月には、タワーウイングの改装及び全客室にインターネットの無線環境の構築を完了し、更なる客室の快適さと利便性の向上を図りました。
- (2) 昨年9月に、森トラスト株式会社との間で締結中の資本業務提携契約を見直し、新たな資本業務提携契約を締結いたしました。これは、①築46年を迎える当社の旗艦ホテルであるリーガロイヤルホテル(大阪)の建替えを視野に入れた戦略の構築、②高級ホテルを複合した都市開発に強みを持つ森トラスト株式会社との再開業事業に向けての協働、③更なる経営の効率化とリーガロイヤルホテルブランドの拡大・発展、などの課題に対処することを目的にしたものです。また、ホテル建替えの実現に向け、有利子負債の大幅削減による抜本的な財務体質

の改善を図るため、リーガロイヤルホテル(大阪)の敷地を森トラスト株式会社及び関電不動産株式会社に譲渡いたしました。当社は、土地譲渡後も、事業用定期借地権を取得して、引き続きホテル運営を継続、拡大してまいります。

- (3) リーガロイヤルホテル(大阪)では、本年1月16日に創業77周年を迎えたことを機に、大阪の拠点として生まれ育まれてきた原点に立ち返り、ホテルビジョン「大阪の“ホーム”ホテルへ。」を制定いたしました。この中で、新スローガン「Pride of OSAKA ー大阪が誇れるホテルであり続けることー」を掲げ、大阪のビジネス・観光・交流の「拠点」としてのホテルの役割を、引き続き追求してまいります。

このように経営改善のための施策を進めてまいりましたが、東日本大震災の影響が大きく、企業催事の自粛、外国人旅行者の減少、個人消費の低迷などにより、リーガロイヤルホテル(大阪)、リーガロイヤルホテル京都、リーガロイヤルホテル東京を合わせた売上高は、31,747百万円と前期比880百万円(2.7%)の減収となりました。

一方損益面は、販売価格の低下や原材料費の増加もあり、売上総利益の減少が大きく、あらゆる経費の圧縮に努めたものの、経常損失は1,758百万円と前期比1,800百万円の減益となりました。また、リーガロイヤルホテル(大阪)の土地売却に伴う特別損失の計上等もあり、当期純損失は、7,546百万円となりました。

なお、グループホテルをあわせた連結売上高は46,800百万円と前期比1,715百万円(3.5%)の減収となり、連結経常損失は2,269百万円と前期比1,818百万円の減益となりました。更に、特別損失として土地売却損3,030百万円を計上したことなどから、連結当期純損失は7,540百万円となりました。

これらの結果、繰越利益剰余金は△25,474百万円となり、当期の配当金につきましては誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

株主の皆様には引き続きご迷惑をおかけいたしますことに対しまして、心よりお詫び申し上げます。

ブランド力の更なる強化による収益源の拡大

今後は、中期経営改善計画に定めた諸施策について役割

員全員が全力で取り組むことで、効率経営の徹底を図り、より一層の収益構造の改善を進めてまいります。

まず営業面では、本年10月に世界210カ国の金融機関が加盟する国際銀行間通信協会(SWIFT)による大型国際会議「Sibos(サイボス)」が大阪で開催されるなど、今後更なる増加が見込まれる国際会議や展示会などMICE(マイス)需要の取り込みに注力すべく、セールス&マーケティング機能の強化、社員の語学研修や人材育成など受け入れ態勢作りを一層進めてまいります。

施設面では、本年6月1日に、「イタリアンレストラン ベラ コスタ」をリニューアルオープンいたしました。今後も、お客様に新しい「利用シーン」を提案すべく、様々な施設をより魅力ある空間にリニューアルしてまいります。

更に長年培ってきたブランド力を生かした収益機会として、本年6月1日に開業いたしました「リーガロイヤルグラン沖縄」と本年度よりアソシエイトホテルズに事業形態を転換して営業を継続する「リーガロイヤルホテル新居浜」に代表される受託事業・フランチャイズ事業を強化してまいります。

また、今後中之島西部地区の再開業が進む過程において、森トラスト株式会社及び関電不動産株式会社ならびに近隣地権者とホテル建替えを含めた再開業事業について、10年後の実現を目指し検討・協議してまいります。

以上の点を経営の課題とし、当社及びグループホテル一丸となって業績の改善に邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長

平澤正英



代表取締役社長

川崎 亨

目次

- 01 株主の皆様へ
- 03 営業情報のお知らせ
- 07 会社概要
- 08 営業成績及び財産の状況の推移
- 09 決算のご報告(単体)
- 12 決算のご報告(連結)
- 15 株主優待制度のご案内
- 18 株主メモ

【表紙写真】結婚披露宴会場「ペリドット」

リーガロイヤルホテル(大阪) 平成24年1月

77th Anniversary “Happy, Smile 77”

当ホテルは1月16日に創業77周年を迎えました。創業77周年の統一テーマは“Happy, Smile”。お客様が幸せに、そして笑顔になり、毎日が心躍るようなホテルでありたいとの想いが詰まったテーマです。「7」…(ラッキー7)に関連した商品が、宿泊、レストラン、イベント、婚礼、テイクアウトショップの各部門から1年間に亘り続々と登場します。創業日の1月16日よりロビーでは、当ホテルパティシエによる、繊細なレース模様の手作り砂糖菓子約3,000個を使った「77th Anniversary Cake」の展示を行っています。これからも77年の歴史に培われたリーガロイヤルホテルならではの「おもてなしの心」をお客様にお届けし続けます。



リーガロイヤルホテル(大阪) 平成23年8月

ブライダル部門の強化

人気の結婚披露宴会場「ダイヤモンドルーム」「ペリドット(旧:菊の間)」2室をリニューアルし、ゲスト専用ウエイティングルームやブライズルームもご用意。チャペルからの専用通路を新設し、ブライダルに特化したブライダルゾーン「ザ・クリスタルウイング」をオープンしました。また、婚礼プロデュース事業や婚礼衣装事業を手がける株式会社ノバレーゼとの相互協力により、ホテルウエディングにゲストハウスウエディングのノウハウを採り入れ、さらにブライダル部門を強化しました。



リーガロイヤルホテル(大阪) 平成24年6月

イタリアンレストラン ベラ コスタ リニューアル

6月1日、アネックス7階の「イタリアンレストラン ベラ コスタ」をリニューアルオープンしました。プライベート感溢れるロケーションを活かし、落ち着いた雰囲気の中にも親しみを感じられる、邸宅を訪れるかのような上質でぬくもりを感じる空間に改装しました。大きな窓から緑や川を望む景色を楽しみながら、リラックスした時間をお過ごしいただけます。ターゲットを30代中心とし、親しい友人、ご家族との食事会やちょっとしたお祝い等、日常の中の大切なシーンでの利用を目指します。



リーガロイヤルホテル(大阪) 平成24年4月

MICE需要を見据えた客室改装とインターネット環境の整備、語学研修の強化

4月1日より、全室にパーフェクトな寝心地を追求して開発されたポケットコイルマットやデュベシーツを導入するとともに、インターネットの利用を無料化しました。ラグジュアリーフロアの拡大に加え、MICEやファミリーなどのグループ利用に特化したフロアも新設いたしました。

また、昨年度より引き続き、英語、フランス語、中国語、ハンガリー語など、多言語の語学研修を独自のプログラムにより行うなど、スタッフの語学力向上に全社を挙げて取り組んでいます。平成24年4月より英語の語学講師専任社員として大学等で英語教育経験の豊富な英国人を新たに起用。OJTでの実践レッスンで、宿泊のみならず、レストランや宴会等の接客部門においても、さらなる英語による接客のレベルアップを目指しています。



リーガロイヤルホテル(大阪) 平成24年3月

SWEETS☆Festival～77種類の宝石たち～ 開催



創業77周年を記念し、スイーツ77種類をご用意したスイーツイベントを開催。関西最大級のスイーツイベントにパティシエ達が生かした技術のすべてを注ぎ込んだ、華麗かつ繊細なスイーツが勢ぞろいしました。

会場では、カカオの種類を当てる「利きカカオ チャンピオンシップ」や、お客様と一緒にステージで仕上げるデザートのカクテルの催しなど、お客様参加型のイベントで盛り上がりました。

今回初めて開催した「お菓子も総選挙！」では、10種類の新商品候補からお客様投票による上位3商品を選抜。

「グルメブティック メリッサ」で平成24年度の新商品として販売予定です。

リーガロイヤルホテル(大阪) 平成24年1月

電気自動車向け充電スペース設置

2階屋内駐車場内に、電気自動車の充電設備を設置しました。

ブースではテスラモーターズ車専用と日本製電気自動車用(200V)の2種類の充電設備を利用でき、テスラモーターズ車専用充電設備については、大阪市内初の導入です。

当ホテルでは、電気自動車の充電設備2種の各電源は非常用発電機にも接続しており、大規模災害による停電時においても充電が可能です。

環境への配慮のみならず、東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害時の自動車エネルギー源の一助として、災害時の都市機能維持においても地域貢献を図ります。



リーガロイヤルグラン沖縄 平成24年6月

リーガロイヤルグラン沖縄、那覇市に6月1日グランドオープン！

株式会社ロイヤルホテルと株式会社金秀本社(沖縄県那覇市)は、「リーガロイヤルグラン沖縄」を開業しました。インテリアの随所に沖縄の自然、文化、風土のエッセンスをとり入れ、那覇の中心部にありながら、リゾート感を満喫していただける空間を演出しています。客室は35㎡のゆとりあるツインルームを中心とし、上層階にはスイートルームもご用意。また、最上階には海側の景色が一望できるダイニング&バーを配置し、「那覇の特等席」としてカジュアルなフレンチやイタリアンなどのお料理をご用意。また、夜にはバー・ラウンジとしてもお楽しみいただけます。レジャーやビジネスの拠点として、快適にお過ごしいただける高品質なホテルです。



リーガロイヤルホテル広島 平成24年2月

宴会場「瀬戸」「宮島」リニューアル

2月に、婚礼部門の売上強化の一環として、「瀬戸」をナチュラルで落ち着いた空間へと、「宮島」を独創的でゴージャスな空間へと改装しました。メインテーブルなどのインテリアがレンタルにて自由にコーディネートでき、多様化するお客様のニーズにお応えします。



リーガロイヤルホテル広島 平成24年3月

宮島・厳島神社をコンセプトに客室リニューアル

3月に、ホテル開業当時のコンセプト「和魂洋才」を踏襲しながら、客室の一部をリニューアルしました。

エレベーターホール・通路は厳島神社の回廊をイメージ、床板(目透かし)とその縁に打ち寄せる波を描き幻想的に仕上げられています。今後も順次客室リニューアルを行う予定です。



リーガロイヤルホテル東京 平成24年1月

宴会場「ダイヤモンド」リニューアル

1月に、宴会場「ダイヤモンド」を、リニューアルオープンしました。従来の「ラグジュアリー」「ハイクラス」なイメージはそのままに、アールデコのモダンな要素を取り入れた、スタイリッシュなウェディングスペースへと生まれ変わりました。カスタムメイドの家具・インテリアをレンタルする「トータルコーディネートレンタルシステム」を新たに導入し、新郎新婦にぴったりのスタイルをご提案します。



リーガロイヤルホテル京都 平成24年3月

「懐石フランス料理 グルマン橋」リニューアル

3月3日、お箸で愉しむフレンチを提供するレストラン「懐石フランス料理 グルマン橋」をリニューアルオープンしました。エントランス、内装、厨房施設を一新し、明るく落ち着いた雰囲気のある雰囲気の中、シェフが仕上げる料理を五感で愉しむことができます。



会社概要

設立年月日 昭和7年2月10日

資本金 181億212万5,750円

本店所在地 大阪市北区中之島5丁目3番68号

事業内容 宿泊、貸席及び料理飲食の販売等

従業員数 1,543名

役員 (平成24年6月28日現在)

代表取締役会長	平澤正英
代表取締役社長	川崎亨
代表取締役副社長	高舂啓次
代表取締役専務取締役	西村孔邦
常務取締役	中林洋二
常務取締役	中村雅昭
取締役	松下正治
取締役	森詳介
取締役	野村明雄
取締役	森川敏雄
取締役	大岩一彦
監査役(常勤)	播本克昭
監査役	朝比奈千秋
監査役	佐藤信昭
監査役	阪尾正一

インターネット ホームページ

<http://www.rihga.co.jp>
(NTTドコモ、au、ソフトバンク 対応)

当社モバイルサイトへは、QRコード対応の携帯電話のカメラで、左のQRコードをスキャンしていただいてもアクセスできます。



株式の状況 (平成24年3月31日現在)

■発行可能株式総数
普通株式 200,000,000株
A種優先株式 300,000株

■発行済株式の総数
普通株式 102,716,515株
(自己株式251,733株を含む)
A種優先株式 300,000株

■株主数
普通株式 10,185名
A種優先株式 1名

■大株主(上位10名)

(1) 普通株式

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
アサヒビール株式会社	19,613	19.14
森トラスト株式会社	19,175	18.71
サントリーホールディングス株式会社	10,267	10.02
関電不動産株式会社	4,100	4.00
株式会社三井住友銀行	2,924	2.85
大阪瓦斯株式会社	2,923	2.85
株式会社竹中工務店	2,763	2.70
日本生命保険相互会社	1,794	1.75
三井住友海上火災保険株式会社	1,506	1.47
三井住友ファイナンス&リース株式会社	1,330	1.30

(注) 持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する持株数の割合です。

(2) A種優先株式

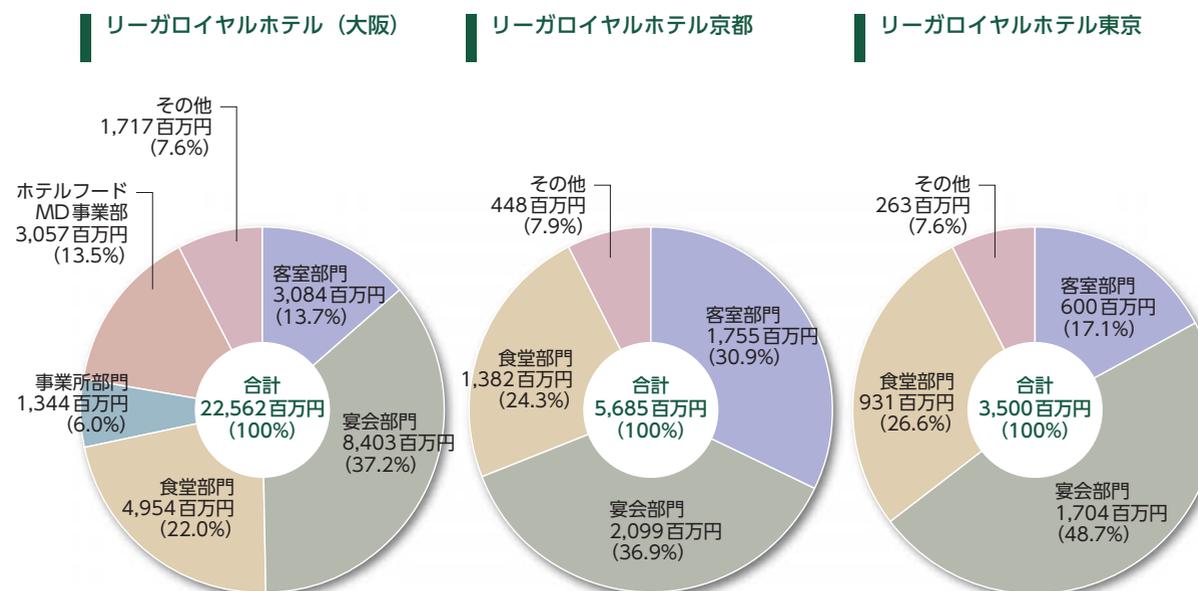
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	300	100.00

(注) A種優先株式は、無議決権株式です。

営業成績及び財産の状況の推移

区分	第83期 平成21年3月期	第84期 平成22年3月期	第85期 平成23年3月期	第86期(当期) 平成24年3月期
売上高(百万円)	36,762	33,006	32,628	31,747
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	914	168	41	△1,758
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	144	△2,942	△15,168	△7,546
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	1.41	△28.71	△148.02	△73.65
総資産(百万円)	94,473	91,139	74,370	53,015
純資産(百万円)	35,363	32,459	17,405	10,130

第86期売上構成



決算のご報告(単体)

貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

資産の部	
流動資産	4,464
現金及び預金	1,364
売掛金	1,827
有価証券	29
原材料及び貯蔵品	319
前払費用	395
その他	534
貸倒引当金	△ 6
固定資産	48,550
有形固定資産	28,261
建物	19,564
構築物	147
機械装置	294
車両運搬具	8
工具、器具及び備品	778
土地	5,214
リース資産	2,251
建設仮勘定	2
無形固定資産	71
電話施設利用権	15
ソフトウェア	55
投資その他の資産	20,217
投資有価証券	343
関係会社株式	89
長期貸付金	41,172
長期差入保証金	8,224
その他	140
貸倒引当金	△ 29,752
資産合計	53,015

(単位:百万円)

負債の部	
流動負債	6,754
買掛金	1,005
短期借入金	2,835
リース債務	178
未払金	358
未払費用	1,236
未払法人税等	73
未払消費税等	34
前受金	566
預り金	286
賞与引当金	58
その他	121
固定負債	36,129
長期借入金	23,039
リース債務	2,120
長期預り金	2,581
繰延税金負債	576
再評価に係る繰延税金負債	1,422
退職給付引当金	4,437
商品券回収損引当金	136
資産除去債務	1,734
その他	80
負債合計	42,884
純資産の部	
株主資本	7,555
資本金	18,102
資本剰余金	14,980
資本準備金	14,980
利益剰余金	△ 25,474
その他利益剰余金	△ 25,474
繰越利益剰余金	△ 25,474
自己株式	△ 52
評価・換算差額等	2,575
その他有価証券評価差額金	1
土地再評価差額金	2,573
純資産合計	10,130
負債純資産合計	53,015

百万円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

売上高	31,747
売上原価	9,729
売上総利益	22,018
販売費及び一般管理費	23,674
営業損失(△)	△ 1,656
営業外収益	801
受取利息及び配当金	727
その他の収益	74
営業外費用	903
支払利息	710
シンジケートローン手数料	166
その他の費用	27
経常損失(△)	△ 1,758
特別利益	1,934
土地売却益	1,934
特別損失	7,072
貸倒引当金繰入額	6,360
関係会社株式評価損	441
固定資産除却損	270
税引前当期純損失(△)	△ 6,896
法人税、住民税及び事業税	88
法人税等調整額	561
当期純損失(△)	△ 7,546

百万円未満は切り捨てて表示しております。

決算のご報告(連結)

株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
当期首残高	18,102	14,980	△17,927	△ 52	15,102
当期変動額					
当期純損失(△)	—	—	△ 7,546	—	△ 7,546
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	△ 7,546	△ 0	△ 7,546
当期末残高	18,102	14,980	△25,474	△ 52	7,555

(単位:百万円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	2	△ 70	2,371	2,303	17,405
当期変動額					
当期純損失(△)	—	—	—	—	△ 7,546
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 0	70	201	271	271
当期変動額合計	△ 0	70	201	271	△ 7,275
当期末残高	1	—	2,573	2,575	10,130

百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部	
流動資産	6,022
現金及び預金	2,294
売掛金	2,584
原材料及び貯蔵品	410
その他	742
貸倒引当金	△ 9
固定資産	51,412
有形固定資産	35,428
建物及び構築物	26,759
土地	5,214
その他	3,454
無形固定資産	99
借地権	24
ソフトウェア	56
その他	19
投資その他の資産	15,884
投資有価証券	348
長期差入保証金	15,201
その他	429
貸倒引当金	△ 94
資産合計	57,435

百万円未満は切り捨てて表示しております。

負債の部	
流動負債	8,690
買掛金	1,553
短期借入金	2,919
賞与引当金	99
その他	4,117
固定負債	41,110
長期借入金	23,131
長期預り金	4,173
再評価に係る繰延税金負債	1,422
退職給付引当金	5,804
商品券回収引当金	148
事業撤退損失引当金	1,078
資産除去債務	2,299
その他	3,052
負債合計	49,800
純資産の部	
株主資本	5,059
資本金	18,102
資本剰余金	14,980
利益剰余金	△ 27,969
自己株式	△ 52
その他の包括利益累計額	2,575
その他有価証券評価差額金	1
土地再評価差額金	2,573
純資産合計	7,635
負債純資産合計	57,435

連結損益計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

売上高	46,800
売上原価	13,473
売上総利益	33,327
販売費及び一般管理費	34,819
営業損失(△)	△ 1,492
営業外収益	147
受取利息及び配当金	13
その他の収益	133
営業外費用	923
支払利息	716
シンジケートローン手数料	166
その他の費用	41
経常損失(△)	△ 2,269
特別損失	4,484
土地売却損	3,030
事業撤退損失引当金繰入額	1,078
固定資産除却損	280
減損損失	95
税金等調整前当期純損失(△)	△ 6,753
法人税、住民税及び事業税	35
法人税等調整額	751
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 7,540
当期純損失(△)	△ 7,540

百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,102	14,980	△ 20,453	△ 52	12,576
当期変動額					
当期純損失(△)	—	—	△ 7,540	—	△ 7,540
連結範囲の変動	—	—	24	—	24
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	△ 7,516	△ 0	△ 7,516
当期末残高	18,102	14,980	△ 27,967	△ 52	5,059

(単位:百万円)

	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差 額 金	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	2	△ 70	2,371	2,303	14,879
当期変動額					
当期純損失(△)	—	—	—	—	△ 7,540
連結範囲の変動	—	—	—	—	24
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 0	70	201	271	271
当期変動額合計	△ 0	70	201	271	△ 7,244
当期末残高	1	—	2,573	2,575	7,635

百万円未満は切り捨てて表示しております。

株主優待制度のご案内

ご優待内容

- **ご宿泊優待券**…客室料金の50%割引
本券1枚につき1泊1室のご利用とさせていただきます。
(ご使用できない期間がございますのでご注意ください)
本券は正規料金にのみ適用となります。
- **ご飲食優待券**…飲食料金の20%割引
本券1枚につきホテル直営レストラン・バー1回のご利用とさせていただきます。
1回のご利用対象金額は15万円(15万7,500円) <割引額3万円(3万1,500円)>を限度とさせていただきます。
※()内の料金には税金・サービス料が含まれております。

- **ご婚礼優待券**
…披露宴のお料理・お飲物料金の8%割引
1件のご婚礼につき1枚のご利用とさせていただきます。
お料理につきましては、ホテル直営の宴会料理、レストランウエディングの直営レストラン料理に限ります。
本券のご利用はホテルに直接お申込をいただいた場合に限り、ご婚礼の仲介会社様を通じてのお申込は適用外とさせていただきます。

他の割引制度・ホテル発行のホテル券及びパッケージ商品ならびにインターネットで提供している特別料金等をご利用の場合には優待券はお使いいただけません。

優待券の送付時期・有効期間

- **3月末現在の株主様**
(送付時期) 6月下旬
(有効期間) ご送付後 12月31日まで
- **9月末現在の株主様**
(送付時期) 12月中旬
(有効期間) ご送付後 翌年7月10日まで

ご優待基準

毎年3月末・9月末現在の株主の方にご所有株式数に応じてそれぞれ下記の枚数のご優待券を贈呈いたします。

ご所有株式	ご宿泊優待券	ご飲食優待券	ご婚礼優待券
1,000株以上	10枚	6枚	2枚
2,000株以上	15枚	9枚	3枚
5,000株以上	20枚	12枚	4枚
10,000株以上	40枚	24枚	8枚
50,000株以上	50枚	30枚	10枚
100,000株以上	75枚	45枚	15枚

■ご飲食のご利用は各ホテル共、次の直営レストラン・バーでご利用いただけます。

- **リーガロイヤルホテル(大阪)**
レストラン シャンボール(29階)
オールデイダイニング リモネ(1階)
鉄板焼・焼肉 なにわ(地下1階)
中国料理 皇家龍鳳(ウエストウイング15階)
カウンター割烹 みおつくし(地下2階)
イタリアンレストラン ペラコスタ(アネックス7階)
日本料理&バー 星宙(30階)
リーチバー(1階)
セラーバー(地下2階)
メインラウンジ(1階)
レストラン グラントック(大阪国際会議場12階)

- 懐石フランス料理 グルマン橋(地下1階)
鉄板焼 葵(地下1階)
中国料理 皇家龍鳳(地下1階)
バー グラナダ(地下1階)
ラウンジ(1階)

- **リーガロイヤルホテル東京**
カフェ コルベージュ(1階)
中国料理 皇家龍鳳(1階)
日本料理 なにわ(1階)
セラーバー(1階)
ガーデンラウンジ(1階)

- **リーガロイヤルホテル堺**
レストラン ポーリバーージュ(2階)
コーヒーハウス コルベージュ(1階)
鉄板焼 なにわ(25階)
日本料理 なにわ(25階)
中国料理 龍鳳(2階)
スカイラウンジ リーガトップ(26階)
バー フォースル(1階)

- **リーガロイヤルホテル広島**
レストラン シャンボール(33階)
日本料理 なにわ(6階)
鮎 政所(6階)
居酒屋 酒仙(6階)
鉄板焼 なにわ(6階)
中国料理 龍鳳(6階)
コーヒーハウス コルベージュ(1階)
スカイラウンジ リーガトップ(33階)
バー コルンパ(2階)

- **リーガロイヤルホテル京都**
フレンチダイニング トップオブキョウト(14階)
コーヒーハウス コルベージュ(1階)

- **リーガロイヤルホテル新居浜**
フランス料理レストラン シャトウ(8階)
日本料理 タ桐(1階)
鉄板焼 タ桐(1階)
中国料理 龍鳳(1階)
バー アゼリア(3階)
スカイビュッフェ リーガトップ(朝食営業8階)

リーガロイヤルホテル小倉

- 鉄板焼 なにわ(28階)
中国料理 龍鳳(2階)
コーヒーハウス コルベージュ(2階)
日本料理 なにわ(1階)
寿司・割烹 酒仙(1階日本料理なにわ内)
スカイラウンジ・フレンチダイニング リーガトップ(29階)
セラーバー(1階)
ラウンジ チボリ(1階)

リーガロイヤルグラン沖縄

- ダイニング&バー エージュ(14階)

※ただし、お持ち帰り商品は除かせていただきます。

お問い合わせは
株式会社ロイヤルホテル 総務部
TEL 06-6448-1125

株主優待券適用対象ホテル

関西	リーガロイヤルホテル(大阪)	大阪市北区中之島5丁目3番68号	TEL (06) 6448-1121
	リーガロイヤルホテル堺	堺市堺区戎島町4丁45番地の1	TEL (072) 224-1121
	リーガロイヤルホテル京都	京都市下京区東堀川通り塩小路下ル松明町1	TEL (075) 341-1121
関東	リーガロイヤルホテル東京	東京都新宿区戸塚町1丁目104番地19	TEL (03) 5285-1121
中国	リーガロイヤルホテル広島	広島市中区基町6番78号	TEL (082) 502-1121
四国	リーガロイヤルホテル新居浜	愛媛県新居浜市前田町6番9号	TEL (0897) 37-1121
九州	リーガロイヤルホテル小倉	北九州市小倉北区浅野2丁目14番2号	TEL (093) 531-1121
沖縄	リーガロイヤルグラン沖縄(宿泊・飲食のみ)	沖縄県那覇市旭町1番地9	TEL (098) 867-3331

株主優待適用対象ホテル追加のご案内

平成24年6月沖縄県那覇市に全館エグゼクティブフロアをコンセプトとする「リーガロイヤルグラン沖縄」を開業いたしました。
今回から「リーガロイヤルグラン沖縄」で株主優待券がご利用いただけることとなりましたので是非ご利用ください。
ホテルの詳細につきましては、下記ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.rihgaroyalgran-okinawa.co.jp>



リーガロイヤルホテルグループ & アソシエイトホテルズ

●印のホテルで株主優待券がご利用いただけます。

リーガロイヤルホテル小倉
[福岡・小倉駅前] ●
TEL (093) 531-1121



リーガロイヤルホテル広島
[広島・基町] ●
TEL (082) 502-1121



リーガロイヤルホテル(大阪)
[大阪・中之島] ●
TEL (06) 6448-1121



リーガ中之島イン
[大阪・肥後橋]
TEL (06) 6447-1122

リーガロイヤルホテル堺
[大阪・堺駅前] ●
TEL (072) 224-1121



リーガロイヤルホテル京都
[京都・京都駅西側] ●
TEL (075) 341-1121



くろよんロイヤルホテル
[長野・日向山高原]
TEL (0261) 22-1530

リーガロイヤルホテル東京
[東京・早稲田] ●
TEL (03) 5285-1121

都市センターホテル
[東京・千代田区]
TEL (03) 3265-8211



リーガホテルゼスト高松
[香川・高松]
TEL (087) 822-3555



リーガロイヤルグラン沖縄
[沖縄・那覇] ●
TEL (098) 867-3331

リーガロイヤルホテル新居浜
[愛媛・新居浜] ●
TEL (0897) 37-1121



リーガロイヤルホテルグループ宿泊の
ご予約は、専用フリーダイヤル
0120-116180
月～金 / 9:00 a.m.～6:00 p.m.
土・日・祝 / 10:00 a.m.～4:00 p.m.

※各ホテルの住所及びご優待利用施設は15・16頁をご覧ください。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸ノ内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎.0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 電子公告により公告します。<<http://www.rihga.co.jp>>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告をすることとします。
- 上場金融商品取引所 大阪証券取引所 (市場第二部)

【株式に関する手続きについて】

株式に関する手続きは、ご所有の株式が、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、各窓口にご照会ください。

証券会社の口座に記録された株式		特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・单元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	・单元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 口座管理機関 三井住友信託 銀行株式会社 証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三井住友信託 銀行株式会社 証券代行部	・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人

